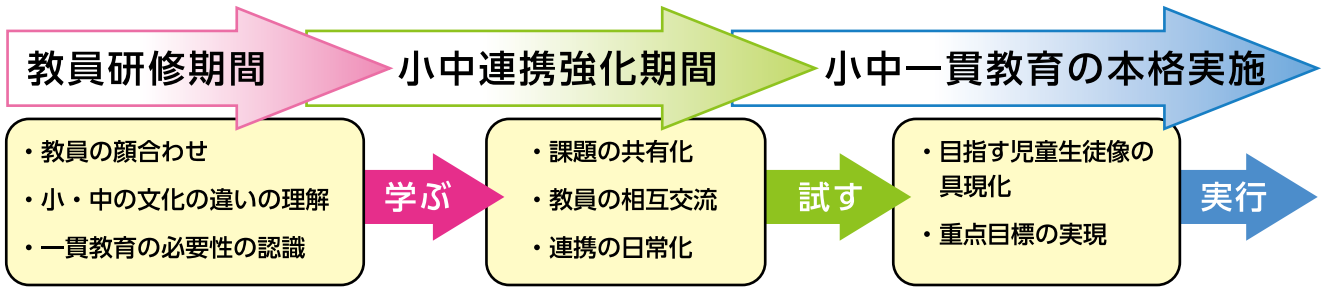


### Ⅲ 教員の意識をつなぐ

先生方の  
交流が大切!

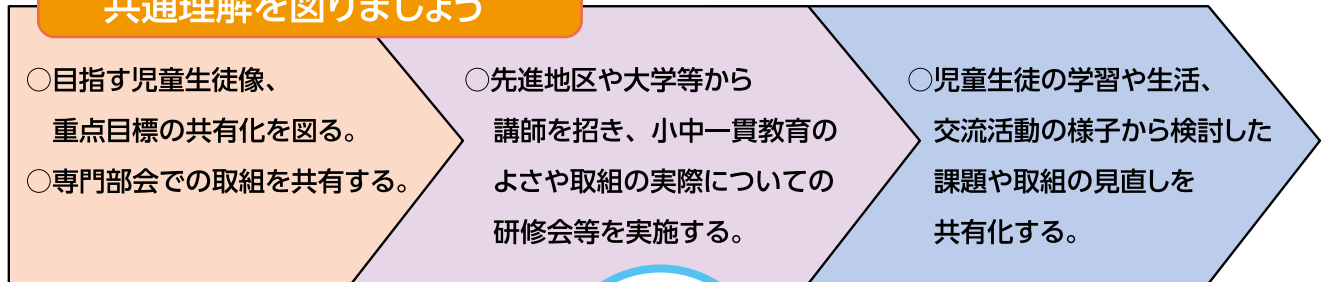


小中一貫教育は、小・中学校の文化の違いや小中一貫教育の必要性を共通理解・認識するとともに、中学校区の課題や目標等を共有し、小・中学校の教員がパートナーシップをもとに協力して推進することが大切です。各学校が計画している授業研究会や校内研修会に、互いに参加するなど、できることから始める方法もあります。



#### 1 小・中合同研修会

##### 共通理解を図りましょう



##### ○実施の手順（事前・事後を含む）

- ① 日程調整
- ② 推進委員会による計画作成
- ③ 指導者招聘
- ④ 研修会資料作成
- ⑤ 研修会のまとめ、次回の計画

##### ○課題解決の手立て

- ・当初の研修会では、小・中学校の教員が互いを理解することをねらいとする。
- ・教員の負担増にならないよう、各学校が実施している研修を基本にして中学校区の小・中学校に広げて実施する。

##### ○ 合同研修会の内容例

- ・中学校区における現状と課題について
- ・小中一貫教育推進に向けた学力・生徒指導の取組について
- ・小・中学校共通で取り組む学習規律について
- ・学力向上推進に向けた取組について
- ・言語活動の充実を目指す小・中学校での系統的な取組について



## 2 小・中合同授業研究会

### 「互いのよさ」を見つけましょう

○各学校が実施する授業研究会や授業参観日の授業を参観し、授業参観記録用紙に感想等を記入し授業者に渡す。

○小・中学校が交互に合同授業研究会を実施する。研究協議では、小・中の教員が小グループで話し合う。

○小・中学校の教員が小・中の系統性を考慮して合同で指導案作成を行い、授業研究会を実施する。

#### ○実施の手順（事前・事後を含む）

- ① 日程調整
- ② 専門部会による計画作成
- ③ 指導案作成・検討
- ④ 授業研究会実施
- ⑤ 授業研究会のまとめと次回の計画

#### ○課題解決の手立て

- ・当初は、小・中学校での指導方法の違いやよさ、児童生徒の学習や生活の状況を理解することをねらいとする。
- ・各教科等の系統性を確認し、9年間を見通した学習指導について検討する。

#### 授業参観記録用紙

参観者：\_\_\_\_\_ 参観日 \_\_月\_\_日

##### 1 参観授業

\_\_学年\_\_組 授業者 \_\_\_\_\_  
 教科等：\_\_\_\_\_  
 単元（題材）名：\_\_\_\_\_

##### 2 授業を参観して

（よかったところ、発見したこと、意見等）

##### 3 自分の授業に取り入れたい視点

授業参観記録用紙

#### 第●学年●組●●科学習指導案

実施月日 ●月●日

第●校時（●時●●分～●時●●分）

指導者 ●●●●

場 所 ●●●●●●

- 1 単元（題材）について
  - ・育てたい児童（生徒）の姿
  - ・工夫した点
- 2 児童（生徒）の実態
- 3 本時の学習指導
  - ・小（中）学校の内容との関連等
  - ・小中一貫教育の視点
  - ・展開
- 4 課題等

指導案の内容

#### ○合同授業研究会、合同研修会実施の工夫例

合同授業研究会、合同研修会を午後に実施する日の日課

小学校	中学校
12:10～12:55 給食	12:35～13:05 給食
12:55～13:20 昼休み	13:05～13:20 昼休み
13:25～13:40 清掃	13:25～13:40 清掃
13:45～14:30 第5校時	13:45～14:35 第5校時
14:30～14:45 帰りの会	14:35～14:45 帰りの会
15:00～16:30 研修	15:00～16:30 研修

- 第5校時に授業研究会を実施する日課である。
- 午後の日程をそろえて、研修ができるようにしている。
- 低学年児童を配慮し、時間は中学校が変更してある。



「3校合同授業研究会」熊谷市  
中学校教員による算数の授業



「合同研修会・全体会」宮代町